

重症心身障がい児を対象とする
児童発達支援・放課後等デイサービス
立ち上げ支援



Supported by

特定非営利活動法人EPO ここね

ここねが提供するのは オーダーメイドの立ち上げ支援

事業所立ち上げまでの不安を解消できるよう
立ち上げ・運営のノウハウを提供します。



Supported by

特定非営利活動法人EPO ここね



フランチャイズ経営ではありません。

加盟金や毎月のロイヤリティはありません。
重い障がいを抱えたお子様も安心して楽しく
自宅の近くで通所することができるように、
通える事業所を増やしたい。
その思いで立ち上げ支援を行います。



Supported by

特定非営利活動法人EPO ここね



ハイクオリティ/ローコスト

**費用を抑え、サービスの質を高め、
スムーズに事業所を立ち上げることができます。
開所後、運営や請求業務の相談もできるので
安心して進めていただくことができます。**



Supported by

特定非営利活動法人EPO ここね





Non Profit Organization
EPO
cocone

COMPANY

会社概要

社名：特定非営利活動法人EPO

所在地：東京都江戸川区篠崎町7-21-16
アルファグランデ篠崎式番街2F

代表者名：齋藤えりか

設立年月：2015年4月

沿革

- 2016年1月 児童発達支援開所（ここね：足立区）
- 2017年4月 児童発達支援開所（ここね江戸川：江戸川区）
- 2018年4月 児童発達支援開所（ここね篠崎：江戸川区）
- 2021年4月 放課後等デイサービス開所（ここね篠崎：江戸川区）
- 2023年8月 コミュニティサロン「COCOLON」設立
- 11月 重症心身障がい児通所施設の立ち上げ支援開始



理事長
齋藤えりか

1980年7月生まれ / 社会福祉士

高校生の時に出会った小学生の男の子がきっかけで、
小児・障がい児福祉の仕事に興味を持ち、社会福祉士を取得。

社会福祉法人で13年勤務。
特別支援学校卒業後の生活介護を担ってきた。

大人の利用者の方々やそのご家族の方々の支援を経験をする中で、
『子どもの頃に様々な経験することができる環境の大切さ』
『生活の中で選択肢がたくさんあることの大切さ』
『経験が心と体を成長させ、生きる力を育む大事な核となる』
ことを感じ、2016年1月、
重症心身障がい児が通所する「ここね」を立ち上げた。

Message

障がいの有無関係なく、小さい年齢の頃から『社会の場』や、
『誰もが通る人生の経験を積み重ねる大切さ』をお届けしたい。
小さいお子さんにとっての経験とは、主に【遊び】だと思います。
様々な遊びを通して心と体を成長させ、好きなことをたくさん見つけていくことは、お子様にとってもご家族にとってもとても嬉しいことです。

お子様だけでなく、ご家族のみなさんが心身共に健全で明るく家族を営んでいけるよう、「誰かが我慢をする」「誰かが頑張る」ということをできるだけ少なくなるお手伝いができる存在でありたいです。

「ここね」に込めた想い

心の根

人と過ごすことで生まれる「人の温もり」を感じ、
たくさんの遊びを通して経験していく「心の成長」を大切に、
お子様一人一人の個性を伸ばし、
その子がその子らしく成長していくベースを育みます。



心の音

お子様の心と丁寧に向き合うことで、
気持ちを理解してもらえたという経験を積み、
お子様の心が「安心と幸せ」に満たされることを目指します。
また、たくさんの遊びや人との関わりを通して、「楽しい」と感じる
「キラキラした心」を大切に、お子様の心の音を育みます。

ここねが大切にしていること

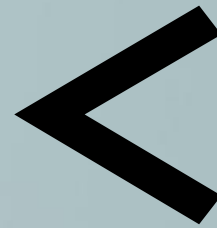


こころが、動くタイミングを逃さない

保育が主体の支援

医療的ケア

リハビリ



遊び

遊びの時間 = 心と体の成長の時間

児童発達支援

0歳～6歳までの未就学児が通う

放課後等デイサービス

小学生～高校生までが通う

重症心身障がい児

身体・知的ともに
重度で重複した障がいを抱える



大島分類

21	22	23	24	25
20	13	14	15	16
19	12	7	8	9
18	11	6	3	4
17	10	5	2	1
走れる	歩ける	歩行障害	座れる	寝たきり

重症心身障がい児

身体・知的ともに
重度で重複した障がいを抱える

ここねに通うのは
1～4に該当するお子様

(歩行が困難、言葉が話すことが難しい)

※医療的ケアの有無は問わない

IQ
80
70
50
35
20
0



**18歳未満の重症心身障がい児の55.2%は
何らかの医療的ケアが必要である。**

東京都
の例

東京都23区の重症心身障がい児(者)の推計

東京都23区
人口約 972万人

重症児(者)



0.03%
10万人あたり30人

岡田 喜篤(2013)



東京都23区の
重症児(者)



推計 2916人

東京都23区の
18歳未満の重症心身障がい児



推計 約1000人

東京都
の例

23区における 通所施設(基本)と(重心)の数

児童発達支援

放課後等
デイサービス

多機能型
(児発+放デイ)

基本

(主に知的障がいのお子様が通う施設)

重心

23区内の事業所数

1312 事業所

58 ^{(※)1} 事業所

定員
(基本は10名、重心は5名)

13120 名 **充足度
92.4%**

290 名 **充足度
29%**

重症心身障がい児と
知的障がい児の数

14200 ^{(※)2} 名

約1000 名

充足度：29%

(※1 令和2年4月時点)

(※2 東京都福祉保健局 令和4年8月 愛の手帳交付数)

重症心身障がい児の通所施設は明らかに不足している

東京都
の例

23区における 重症心身障がい児の通所の現状

58 事業所 290 名

23区の重症心身障がい児は
約1000人

1日に1/3のお子様しか通えない

家族の声

重い障がいがあっても
毎日ここねに通いたい！

健常の子どもたちは
毎日保育園に通えるのに..

同じ年代の友達と
一緒に遊ばせたい

安心して預けられる
施設がない

自宅にいても
遊び方がわからない

働きたいけど
どうしようもない

医療的ケアがある子どもを
預ってくれる場所がない

ここもあそこも
児発はいっぱい

子育てが不安

体をもっと
動かしてあげたい

小学生になっても
行ける放デイがない

アドバイスが
欲しい



**重症心身障がい児のお子様も
希望する方は毎日、児発や放デイに
通えるようにしたい！**

だから！

**施設を立ち上げるために必要な
【ここね】のノウハウをすべて伝えます。**

**通所施設を立ち上げたい
お子様やご家族の力になりたい**

でも、不安がいっぱい。

**【ここね】でたくさんのお子様やご家族を
支援してきた私たちが
立ち上げから運営までサポートします！**



**私たちはお子様やご家族が
安心して暮らせる環境を整えたい**

**フランチャイズ経営と違って
加盟金は不要です。**

EPOの立ち上げ支援

お子様やご家族の支援と同じで、
「不安に感じること」はそれぞれ違います。

知りたいこと、サポートが必要なことに応じて
オーダーメイドの立ち上げ支援を行います。

児発・放デイFCの相場

加盟金

200~500万円

研修費

約50万円

開業サポート

25~150万円

ロイヤリティ

月の売上の5~10%

初期費用

FC
約400~500万円

+

- 物件取得費
- 内装工事費
- 什器備品代
- 車両費
- 広告費

ロイヤリティ

毎月
約15万円

EPOの立ち上げ支援にかかる費用

加盟金

ロイヤリティ

なし

研修費

開業サポート

必要な分だけ >>>

パックプラン

オーダーメイドプラン

OJT

研修内容例

重症心身障がい児 支援総論

障がい児福祉とは / 重症心身障がい児とは
児童発達支援とは / 児童発達支援の現状
児童発達支援が求められること

放課後等デイサービスとは / 放課後等デイサービスの現状
放課後等デイサービスが求められること

医療的ケアとは / 重症心身障がい児の疾患と特徴
重症心身障がい児に関わる機関・施設・役職

支援の実際①

医療的ケアの実施にあたって / 医師とご家族の指示

医療的ケアの手順書の意義と役割

送迎と安全 / 福祉車両の種類と必要性

食事・水分の種類、形状 / 食事・水分の準備

食事介助 / 経管栄養 / 子どもの摂食・嚥下の注意点

言葉の使い方 / 抱っこの方法

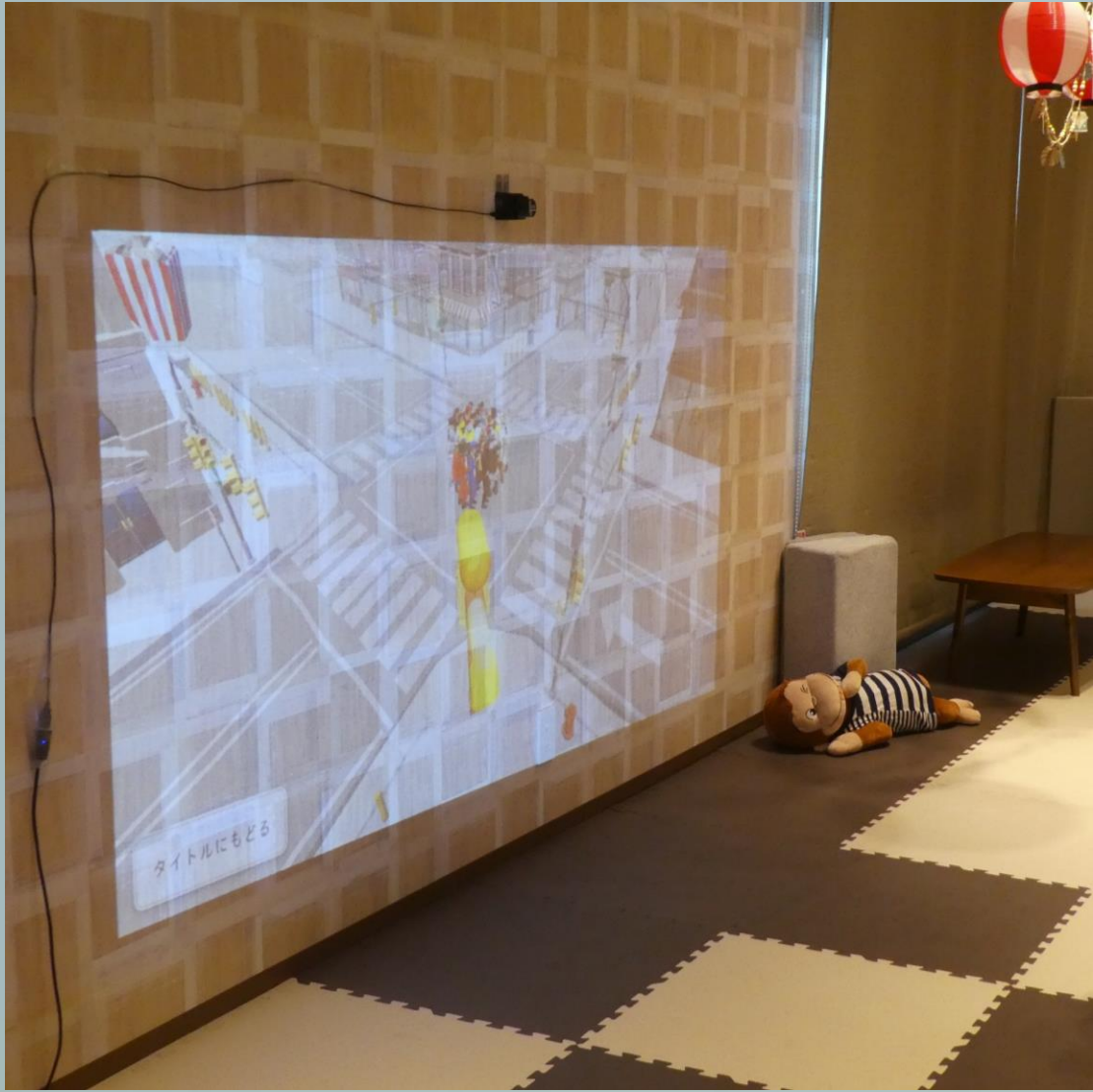
ご家族とのやりとり / 保護者との連絡・危機管理

支援の実際②

重症児リハビリの基礎 / 通所施設でのリハビリの考え方
活動プログラムの考え方 / 保育が主体の支援とは
遊びの作り方 / 個別のあそびプログラム
座位保持椅子の選び方 / 備品の選び方・おすすめ
デジリハやICT機器の導入
イベントの開催・準備・集客

職員研修

OJT:ここねでの現場体験



活動プログラム

**保育が主体の支援方法や
活動プログラム作成の
ワークショップで
魅力的な活動を作れるように！**

**デジリハやICT機器の導入で
他の施設と差別化を図れる！**

OJT：現場研修



**実際の現場に入りながら学ぶことで
より実践的な研修に！**

**雰囲気やタイミングをつかんだり
細かいところに気付いたり
現場ならではの気づきを得る！**

開設にあたって①

指定申請の流れ / 人員配置基準 / 設備基準 / 物件選び
内装工事 / 建物・設備の補助金・助成金
送迎車両の購入・助成 / 車両購入の補助金・助成金
請求の方法・流れ / 報酬の構造
福祉ソフトの種類・特徴
求人と採用 / 働きやすい環境づくり / 離職防止施策
看護師・専門職・児童指導員の連携、チーム支援

開設にあたって②

都道府県とのやりとり(利用編/請求編)

自治体とのやりとり(利用編/請求編)

マニュアル作成 / 契約書・重要事項説明書作成

個人情報・虐待防止等の書類作成 / 日誌・連絡帳作成

消防・災害対策書類作成

1日の流れ / 名簿・時系列表

パンフレット制作 / 広報・広告

利用者の募集・受け入れ

契約から初回利用までの流れ

スタッフの働く環境

募集・採用のアドバイス

スタッフ1人1人が輝けて、
スタッフ個人に責任の所在が及ばない
本当の働きやすい環境づくり

手順書やマニュアル作成、
保育・リハビリスタッフの育成による
看護師の負荷量の減らし方



プランと費用

サポートパック

指定申請サポート

指定申請にかかる行政とのやりとり・書類作成・設備の助言を指定が受けられるまでサポートします。

運営書類サポート

契約書類、マニュアル、消防・災害対策、日誌、連絡帳、自己評価、アセスメントシートの作成・運用方法をサポートします。

児童発達支援 管理責任者サポート

個別支援計画の作成方法、管理方法
面談やアセスメントのポイントなどをサポートします。

活動プログラム サポート

「保育を中心とした」活動プログラムの作り方、考え方をワークショップ形式メインの研修でサポートします。

医ケア手順書 サポート

医療的ケアの手順書作成・運用方法をサポートします。

請求業務サポート

国保連・自治体に向けた書類作成・提出方法、各事業所とのやりとり、上限管理など請求に必要なことをお伝えします。
開所後、実際の請求時にサポートが必要な場合は、追加でオーダーメイドのサポートをさせていただきます。

サポートパック費用

指定申請サポート

10万円

運営書類サポート

20万円 (7日間)

児童発達支援
管理責任者サポート

5万円 (2日間)

活動プログラム
サポート

7万円 (3日間)

医ケア手順書
サポート

5万円 (2日間)

請求業務
サポート

5万円 (2日間)



OJT現場研修

ここねの現場で送迎・活動・食事・環境設定・声掛け・事務書類作成
抱っこの方法・おむつ交換・衛生管理・リハビリ・多職種連携などを学ぶ

1日

1万円

1週間(5日間)

5万円

2週間(10日間)

8万円

1か月(約20日)

12万円



担当のSVを中心に
専門分野は専門のスタッフに
聞くことができる！





フルサポートプラン



指定申請サポート

運営書類サポート

請求業務サポート

児童発達支援
管理責任者サポート

医ケア手順書
サポート

活動プログラム
サポート



OJT
1名(2週間)

60万円



オーダーメイドプラン

テーマを絞って研修や同行、書類作成

ご希望の内容と時間を相談
すでに運営している事業所の運営サポートも
内容・時間・費用は相談のうえ決定

おおよその目安

半日(3時間)

1.5万円

1日(6時間)

3万円



立ち上げから運営まで

まずはお気軽にご相談ください！

03-6231-8004

e-mori@cocone.or.jp